

会津の歴史にふれてみませんか



—— インフォメーション ——
◆開館/8:30 am ◆閉館/5:00 pm
◆入場締切/4:30 pm

鶴ヶ城天守閣・茶室麟閣 入場料

〈高校生以上〉ADULT 〈小中学生〉CHILDREN

大人:510円 小人:150円

〈鶴ヶ城天守閣のみ〉 〈茶室麟閣のみ〉

大人:410円 大人:200円

小人:150円 小人:無 料

◆小学校就学前の幼児は無料です。
◆団体30名様以上1割引・100名様以上2割引と なります。

若松城管理事務所

会津若松市追手町1番1号

TEL.0242-27-4005 FAX.0242-27-4012

くわしくは [鶴ヶ城](#) [検索](#) クリック!



150

2018年は戊辰150年
天守閣は全館が幕末・戊辰戦争特集

会津
鶴ヶ城



鶴ヶ城 天守閣

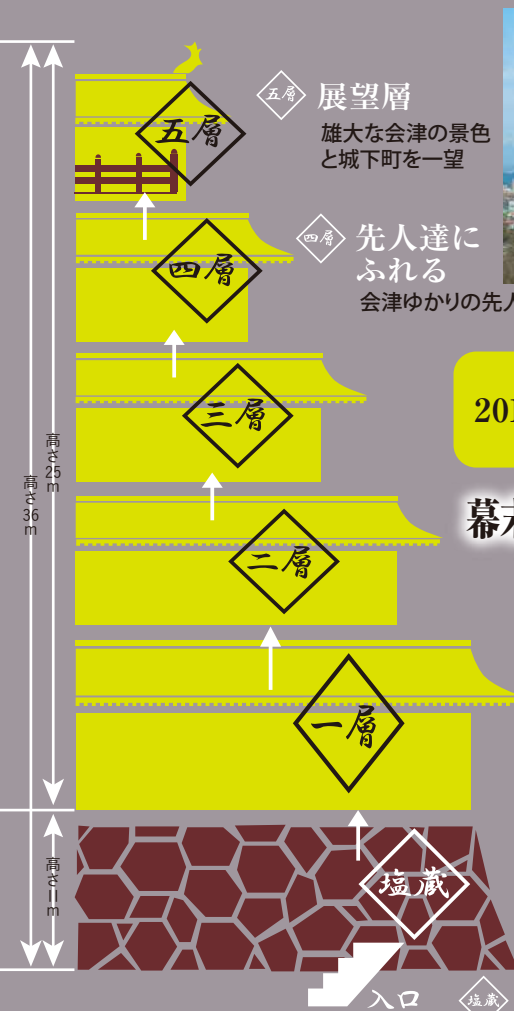
茶室 麟閣

史跡若松城跡／郷土博物館

福島県指定重要文化財

鶴ヶ城で会津の歴史を楽しく学ぼう！

天守閣内は郷土博物館として会津の歴史や文化をご紹介します。



五層からの眺望

五層 展望層
雄大な会津の景色と城下町を一望

四層 先人達にふれる
会津ゆかりの先人達をご紹介します

2018年は 天守閣全体が
幕末・戊辰戦争 特集

幕末の会津を物語る貴重な資料を展示

孝明天皇からいただいた …… 「御宸翰」

会津の名刀 …… 「和泉守兼定」

会津攻めに使われた …… 「錦旗」

威力を発揮した …… 「スペンサー銃」

降伏式に敷かれた …… 「泣血氈」

激闘を描いた …… 「禁門の変図屏風」

※資料保護のため期間を区切って展示します。

復元された南走長屋・干飯櫓



干飯櫓は鶴ヶ城内にあった11棟の櫓の中で一番規模の大きかった櫓です。文字通り「食糧庫」であったと考えられています。



歴代城主の変遷

葦名氏	伊達氏	蒲生氏	上杉氏	加藤氏	保科氏	松平氏
ASHINA	DATE	GAMO	UESUGI	KATO	HOSHINA	MATSUDAIRA
(1189)1384	1589	1590 1601	1598	1627	1643	1643
1589	1590	1598 1627	1601	1643		1868

1868年の会津藩の動き

1月3日	鳥羽・伏見の戦い始まる	8月22日	白虎士中二番隊出陣
1月6日	松平容保は徳川慶喜に連れられ江戸へ	8月23日	白虎隊士、飯盛山にて自刃
2月4日	容保は喜徳へ家督を譲り隠居		城内へ避難を呼びかける
3月10日	会津藩、軍制改革		西郷家など自刃者も多数
	玄武・青龍・朱雀・白虎の諸隊へ	8月25日	中野竹子らが敵兵に遭遇し、戦死
4月22日	奥羽列藩同盟結成される	9月14日	敵軍の一斉砲撃開始
	のちに越後6藩も加盟	9月22日	会津藩降伏。容保らは妙国寺で謹慎
5月1日～7月29日	白河城・平城・二本松城など落城	9月23日	藩士は猪苗代で謹慎。婦女子らは解放
8月20日	敵軍、母成峠へ進攻開始	翌年 5月18日	家老萱野権兵衛が責任をとり自刃

茶室 麟閣



天正19年、千利休は豊臣秀吉の怒りにふれ、死を命じられました。この時、千利休の茶道が途絶えることを惜しんだ会津の領主、蒲生氏郷は、利休の子の少庵を会津に匿い、豊臣秀吉に『千家再興』を願いました。この結果、少庵は京都へ帰り、千家茶道は少庵の子の宗旦に引き継がれ、その孫により武者小路千家、表千家、裏千家の三千家が興され現在に伝えられています。

この「麟閣」は少庵が会津に匿われていた時、氏郷のために造ったと伝えられており、戊辰戦争後は茶人森川善兵衛宅で大切に保存されてきました。

会津若松市では平成2年、市制90周年を記念し、この麟閣を元の場所へ移築復元し後世へ伝えるものです。

